

令和6年度

事業報告書

鎌倉エシカルラボ

1. ビジョンと活動の軌跡

鎌倉エシカルラボは、鎌倉市のフェアトレードタウン認定と継続を目的として、2023年5月13日の世界フェアトレード・デーに設立されました。私たちは、海・山・川などの豊かな自然に恵まれ、歴史と文化を誇る鎌倉を「人と人とのつながりを大切にする暮らしが息づく一つの実験の場（ラボ）」と位置づけています。その根底には、大量生産・大量消費・大量廃棄といった現代社会が抱える喫緊の課題、すなわち「人新世の課題」に真摯に向き合い、共感と共生に基づいた持続可能な社会を探索するという強い意志があります。私たちは、今の世代だけでなく、次の世代も希望をもってエシカルに生きられる鎌倉を創造することを目指しています。

2024年度は、この壮大なビジョン実現に向けた、まさに記念すべき一年となりました。努力が実を結び、鎌倉市が国内で7番目となるフェアトレードタウンとして認定されたことは、私たちの活動が地域社会に深く根差し、具体的な成果を生み出した証です。この認定は単なる称号ではなく、市民、企業、行政が一体となってエシカルな価値を追求し、持続可能な未来を共創していくための新たな出発点となります。本報告書では、2024年度の活動を、鎌倉エシカルラボのビジョンに照らし合わせながら振り返り、その軌跡と未来への展望を皆様と共有いたします。

2. 鎌倉を「実験の場（ラボ）」として：共感・共生社会の探索

鎌倉エシカルラボは、その名の通り、鎌倉という地域全体を「実験の場（ラボ）」と捉え、エシカル消費の新たなあり方を模索し、共感と共生に基づいた社会の実現を目指しています。2024年度は、この「実験」を通じて、市民の意識変革を促し、具体的な行動へと繋げる多くの試みが行われました。

市民参加型商品開発と地域への浸透

2024年5月、私たちは「鎌倉焙煎珈琲フェアトレードかまくらブレンド」の商品開発において、市民参加型の投票を実施しました。これは単にコーヒーの味やパッケージデザインを決めるだけでなく、市民一人ひとりがフェアトレードという概念に触れ、その意義を「自分ごと」として捉える貴重な機会となりました。このプロセスを通じて、フェアトレードが一部の関心層だけでなく、市内の幅広い層に親しまれるきっかけが創出されたことは、まさに「実験の場」としてのラボの機能が発揮された好例と言えます。また、フェアトレードラベルジャパンが推進するミリオンアクションキャンペーンにおいても、1,569アクションという大きな貢献を果たすことができました。これは、市民の皆様の積極的な参加と、フェアトレードへの関心の高まりを示すものであり、共感の輪が着実に広がっていることを実感する活動でした。

エシカル消費の新たな価値創造

2024 年 10 月に鎌倉市で初めて開催された「サーキュラーアワード」への参加は、鎌倉エシカルラボがフェアトレードに留まらず、より広範なエシカルな活動へと視野を広げていることを示すものでした。私たちは、コーヒーの抽出かすである「コーヒーグラウンズ」の活用というアイデアを提案し、フェアトレードバナナと組み合わせたユニークなレシピを考案しました。この取り組みは、大量廃棄という「人新世の課題」に対し、循環型経済の視点から具体的な解決策を提示するものであり、その独創性が評価され表彰を受けるに至りました。これは、エシカル消費が単なる「消費」に留まらず、新たな価値を創造し、社会課題の解決に貢献できる可能性を実証した「鎌倉エシカルラボらしい活動」であったと確信しています。

3. 人と人とのつながりを大切に：協働と連携の拡大

鎌倉エシカルラボのビジョンの中核には、「人と人とのつながりを大切にする」という理念があります。2024 年度は、この理念に基づき、多様なステークホルダーとの協働と連携を深め、活動の幅を大きく広げた一年となりました。

多様なステークホルダーとの協働

「鎌倉焙煎珈琲フェアトレードかまくらブレンド」の発売は、三本珈琲様、国分首都圏様といった企業との協働なくしては実現し得ませんでした。2024 年 8 月には、これらのパートナー企業と共に鎌倉市長へ製品を進呈し、その様子は新聞各紙にも大きく取り上げられました。このことは、鎌倉市内だけでなく、全国の方々に鎌倉におけるフェアトレードの取り組みを知っていただく貴重な機会となり、企業との連携が社会的なインパクトを生み出す好例となりました。企業が事業を通じてエシカル・フェアトレードを推進する意義を共有し、共に歩むことで、より大きなムーブメントを創出できることを示しています。

行政・地域との連携強化

フェアトレードタウン認定に向けた道のりは、行政や地域社会との緊密な連携によって支えられました。2024 年 10 月 2 日の鎌倉市議会における「フェアトレードの取組を広げる決議」と、29 日の鎌倉市長による「鎌倉市フェアトレード宣言」は、行政がフェアトレード推進に強いコミットメントを示した画期的な出来事でした。これらを受けて、10 月 31 日にはフェアトレードタウンの申請書を提出し、2025 年 1 月には認定委員による市内視察が行われました。この視察では、株式会社豊島屋様やハリス記念鎌倉幼稚園様、市内の店舗様、そして市長や市議会議員の皆様など、多岐にわたる方々から直接お話を伺う機会を得ました。それぞれのフェアトレードに対する熱い想いに触れることで、私たちは活動の意義を再確認し、地域全体でフェアトレードを推進していくことの重要性を改めて認識しました。

また、2024 年 11 月には、鎌倉市、東京都、神奈川県との共催で、事業者向けの「エシカルセッション」を開催しました。これは、これまでの活動とは異なる新たな切り口であり、事業を通じてエシカル・フ

フェアトレードを推進している企業との関係性を深める上で非常に有意義な機会となりました。行政との連携を強化し、多様な主体を巻き込むことで、エシカル消費の普及啓発をより一層加速させることができました。

4. 希望をもってエシカルに生きられる鎌倉へ：未来への展望と課題

2024 年度は、フェアトレードタウン認定という大きな目標を達成し、鎌倉が「希望をもってエシカルに生きられる」未来へと一歩踏み出すための重要な基盤を築いた一年でした。しかし、活動が新たな段階に入ったからこそ見えてきた課題も存在します。私たちはこれらの課題に真摯に向き合い、持続可能な活動へと繋げていく決意です。

フェアトレードタウン認定の達成とその先のビジョン

2025 年 3 月、「鎌倉焙煎珈琲フェアトレードかまくらブレンド」がソーシャルプロダクツ・アワードの自由部門において大賞を受賞したことは、私たちの活動が社会的に高く評価された証です。この受賞に続き、フェアトレードタウン認定の通知も届き、メンバー一同、大きな喜びと達成感に包まれました。ソーシャルプロダクツ・アワードの受賞は、製品の販売や活用に関する申し出の増加に繋がり、フェアトレードタウン活動のさらなる拡大を後押ししています。この成功は、株式会社ミツハン様と宗教法人安国論寺様と共に商品化を実現した「御難おむすび」などのように、次のコラボ商品の企画開発へと繋がり、エシカルな製品開発を通じて社会貢献を継続していくための新たな道筋を示しています。

そして、2025 年 5 月 6 日には、鎌倉市議会議場にて「鎌倉市フェアトレードタウン認定記念式典」を盛大に開催いたしました。全国各地のフェアトレードタウン関係者、フェアトレード大学の関係者や学生、タウンを目指す自治体の方々、葉山町長、さらには生産国を代表して駐日ニカラグア大使もご臨席くださり、多くの皆様と共にこの記念すべき日を祝うことができました。タウン認定に至るまでにご尽力くださった方々、市議会議員の皆様と共に喜びを分かち合えたことは、2024 年度の活動を締めくくるにふさわしい、充実した瞬間でした。

活動の深化と持続可能性への挑戦

非常に実りの多い一年であった一方で、活動が軌道に乗り出したからこそ、新たな課題も表面化してきました。特に、新メンバーの増加に伴う情報共有や諸判断に関わるルールの整備、そしてフェアトレードタウン認定後の「ビジョン」の明確化は、今後の活動をより深化させ、持続可能なものとしていく上で不可欠な要素です。これらの課題はメンバー内でも認識されており、年度の後半からは改善に向けた動きが少しずつ始まっています。

来年度、2025 年度は、これらの課題に正面から向き合い、「地固めと再出発」の年度と位置づけます。安定的な運営ができるような仕組み作りを進めるとともに、日本のフェアトレードタウン運動、ひいては日本のフェアトレード全体を牽引していけるような、より明確で力強いビジョンの模索を進めてまいります。私たちは、鎌倉エシカルラボが、単なるフェアトレードの推進団体に留まらず、社会全体の持

続可能性に貢献する「実験の場」として、常に進化し続けることを目指します。

5.感謝と次年度への決意

2024 年度、鎌倉エシカルラボの活動は、皆様のご支援とご協力なしには成し遂げられないものでした。市民の皆様、パートナー企業の皆様、行政関係者の皆様、そして活動を支えてくださった全ての皆様に心より感謝申し上げます。

私たちは、2025 年度を「地固めと再出発」の年度と捉え、これまでの成果を土台としつつ、新たな挑戦を続けてまいります。鎌倉エシカルラボは、これからも鎌倉という地域を「ラボ」として、エシカル消費のあり方を深く探求し、その知見を皆様にお伝えしてゆくことで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。今後とも、皆様のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

6.事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された 事業名	事業内容	日時	場所	対象 範囲 人数	支出費
フェアトレード及びエシカル消費普及推進事業	鎌倉発のフェアトレードコーヒーの開発のために、市内各所を中心に、味とパッケージデザインの投票を実施	2024/5/1 ～ 30	鎌倉市内中心に 各所	鎌倉 市内 及び その 他	
フェアトレード及びエシカル消費普及推進事業	鎌人いち場出店	2024/5/19 及び 2025/5/18	鎌倉海浜公園由 比ガ浜地区		2,000
フェアトレード及びエシカル消費研究事業	エシカルラボ定期勉強会 第1回ザンビア報告会	2024/5/20	えしかる屋	8	
フェアトレード及びエシカル消費研究事業	鎌倉市議会 議員研修会	2024/8/19	鎌倉市役所	15	
フェアトレード及びエシカル消費研究事業	エシカルラボ定期勉強会 第2回タラ オセアン ジャ パンお話し会	2024/8/25	えしかる屋	8	
フェアトレード及びエシカル消費普及推進事業	鎌倉焙煎珈琲フェアトレード かまくらブレンド市長進 呈	2024/8/26	鎌倉市役所		
フェアトレード及びエシカル消費研究事業	エシカルラボ定期勉強会 第3回テンペを食べて学ぶ	2024/9/15	えしかる屋	8	
フェアトレード及びエシカル消費研究事業	エシカルラボ定期勉強会 第4回カポックを知ろう	2024/11/16	えしかる屋	6	
フェアトレード及びエシカル消費普及推進事業	エシカルセッション 2024	2024/11/21	建長寺・応真閣	50	
フェアトレード及びエシカル消費普及推進事業	鎌倉サーキュラーアワード	2024/10/5	鎌倉市生涯学習 センターきらら かまくら		

フェアトレード及びエシカル消費普及推進事業	鎌倉市観光協会新年会にて講演	2025/2/7	鎌倉パークホテル		
フェアトレード及びエシカル消費普及推進事業	ソーシャルプロダクツ・アワード 2025	2025/3/26	時事通信ホール		
フェアトレード及びエシカル消費普及推進事業	鎌倉市フェアトレードタウン認定記念式典	2025/5/6	鎌倉市議会議場	90	

(2) その他事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	対象 範囲 人数	支出費
フェアトレード及びエシカル消費普及推進事業	オクトーバーフェスト鎌倉 2024	2024/10/5.6	鎌倉市役所前		
フェアトレード及びエシカル消費研究事業	鎌倉女子大文化祭みどり祭	2024/11/2	鎌倉女子大学		
フェアトレード及びエシカル消費普及推進事業	放課後かまくらっ子	2024/10/2	鎌倉市子ども家		
フェアトレード及びエシカル消費普及推進事業	かまくら市民活動フェスティバル	2025/2/16	鎌倉市福祉センター		